

## アスベストモニタリングマニュアル改訂に向けた検討方針(案)

「今後の石綿飛散防止の在り方について（答申）」（令和2年1月 中央環境審議会）では、「石綿繊維数濃度や総繊維数濃度を迅速に測定するための方法や評価の指標、測定結果を作業管理に活用する際の課題と対応を調査・研究するとともに、これらの進展状況を踏まえ、国内外で実施されている大気濃度測定の方法等も参考にしつつ、大気濃度測定の制度化について速やかに検討する必要がある」とされている。

本検討会では、今後現場でのアスベストモニタリングの普及・促進のため、漏えい監視等に運用可能な迅速測定方法や測定機器の現場での使用の効果等を検討し、アスベストモニタリングマニュアルを改訂することを目的とする。また、近年地震・大雨等の自然災害が多数発生しており、今後も自然災害が起こる可能性も懸念されることから、災害時のアスベストモニタリングについても、調査対象地域・分析方法等について検討し、先の迅速測定方法等の検討と併せてアスベストモニタリングマニュアルに追加することを検討する。

### 1. アスベストモニタリングマニュアル改訂に向けた検討事項

#### ① アスベスト迅速測定法の改訂

##### 【検討内容】

- ・解体現場等の集じん・排気装置排出口や作業現場近傍などからの漏えい監視を目的とした迅速測定法について、迅速測定に使用可能な可搬型の顕微鏡について情報を収集・整理するとともに、現在参考に記載されている可搬型蛍光顕微鏡法も含め、測定方法各論への追記を検討する。

##### 【対応】

- ・最新の迅速測定法の情報を収集する。
- ・現アスベストモニタリングマニュアル(4.1 版)の参考に記載されている可搬型蛍光顕微鏡法を含め、迅速測定に使用可能な可搬型の顕微鏡について、測定方法各論への追記を検討する。

##### 【課題】

- ・迅速測定法の使用範囲・方法などについて記載が必要。
- ・PCM 法・電子顕微鏡法との測定結果の比較について、別途本業務による実測比較等は必要か。
- ・試験法の比較以外に、検討・検証が必要な事項はあるか。

⇒資料3 参照

## ② 大気捕集方法の検討及び大気汚染防止法改正に伴う用語等の修正

### 【検討内容】

- ・短時間で解体・改修作業が終了してしまう解体现場等の測定を行う事を考慮し、小規模の解体现場での漏えい監視等に運用可能な迅速測定方法(捕集器具や吸引量等)について検討する。
- ・大気汚染防止法改正に伴い、用語等の確認及び統一を行う。

### 【対応】

- ・捕集器具・吸引量等について、それぞれ試験区を設定し、短時間捕集に対応する捕集方法を検討する。
- ・解体及び改修現場等の施工区画周辺及び作業場近傍、集じん・排気装置排出口等におけるアスベストの測定地点の区分・測定箇所について、大気汚染防止法改正に伴い用語の統一や追記等文章の修正を行う。

### 【課題】

- ・捕集方法については、既に試験を行い、データが蓄積されている事も考えられるため、事前に過去のデータについても確認する必要がある。
- ・除去作業等の現場状況に応じた適切な測定が選定できるよう検討し、具体化する必要がある。

⇒詳細は資料4

## ③ 災害時における測定方法の追加

### 【検討内容】

- ・近年地震・大雨等の自然災害が多数発生しており、今後も自然災害が起こる可能性も懸念されることから、災害時のアスベストモニタリングについて、調査対象地域・測定箇所・測定時間・分析方法等について検討し、アスベストモニタリングマニュアルに追加することを検討する。

### 【対応】

- ・測定地点の選定について、優先順位を明確にする。
- ・過去に行った災害時調査の測定方法(測定箇所の設定、捕集時間、分析方法等)を参考に、災害時測定の優先順位等についても勘案し、アスベストモニタリングマニュアルへ記載する。
- ・被災自治体における災害時の対応実績についてヒアリング調査及び取りまとめを行い、案を作成する。

### 【課題】

- ・災害の種別及び規模により被災状況が異なる。被災した地域の範囲や状況に合わせ、測定箇所や優先順位等を選定する必要があるため、マニュアルに汎用性を持たせる必要がある。

⇒資料5 参照

## ④ 新規技術の追加

### 【検討内容】

- ・前回のマニュアル改訂から 4 年が経過しているため、新しい測定技術等の収集を行い、アスベストモニタリングマニュアルへの記載を検討する。

### 【対応】

- ・国内外で報告されている研究報告等から、アスベスト大気濃度測定の新規技術について、情報収集及びアスベストモニタリングマニュアルへの追記を検討する。

## ⑤ その他アスベストモニタリングマニュアルに追加・修正すべき事項

### 【検討内容】

- ・検討委員からのご意見の中で、アスベストモニタリングマニュアルの改訂に当たり、追記・修正したほうが良い内容を検討会の中で精査し、改訂を行う。

## 2. 改訂アスベストモニタリングマニュアル骨子案について

上記検討事項を踏まえ、改訂アスベストモニタリングマニュアル骨子案を作成した。現行アスベストマニュアルを基本とし、検討事項を追加することを基本としている。

⇒資料6 参照

### 3. 今後のスケジュール

時 期	内 容	
	検討会開催	アスベストモニタリングマニュアル改訂作業内容
2021年 10月	第1回検討会開催	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">◎改訂内容について 委員意見の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">◎迅速法を含む新規技術 の収集・評価・選択</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">◎災害時の対応について</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実地調査の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ヒアリング等の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">アスベストモニタリング マニュアル 改訂作業</div> </div>
11月		
12月	第2回検討会開催	
2022年 1月		
2月	第3回検討会開催 アスベストモニタリングマニュアル改訂案の最終確認	
	アスベストモニタリングマニュアル改訂版完成	
3月		

◎:委員のご意見を重点的に頂きたい内容